

本リリースの内容は、アメリカ東海岸において、5月14日(木)午前9:00（日本時間14日午後10:00）に発表しました。

2026年5月15日  
Hitachi Digital Services

## Hitachi Digital Services が ISG Provider Lens のロボティクスおよびフィジカル AI レポートで唯一、3 分野すべてでリーダーに選出

日立グループとしてミッションクリティカルな領域でフィジカル AI の戦略策定から運用まで一貫通貫で提供できる専門性を評価

株式会社日立製作所(以下、日立)の米国子会社であり、ミッションクリティカルな基盤を支えるグローバルシステムインテグレーターである Hitachi Digital Services は、AI 分野を中心としたグローバルなテクノロジー調査・アドバイザリー企業である ISG Research が発行する「ISG Provider Lens」の 2026 年版レポートにて、インテリジェントロボティクスおよびフィジカル AI サービス分野でリーダーとして認定されました。戦略策定段階から導入、運用保守に至るまで、あらゆる段階で独自の知見(ドメインナレッジ)を融合させながら、先進的なロボティクスサービスを提供できる日立としての競争優位性が高く評価されたものです。日立は、鉄道、エネルギー、モビリティ、製造などの資産集約型産業におけるミッションクリティカルなシステムへのロボティクスやフィジカル AI の導入を強力に推進しています。

ISG Provider Lens は、企業がパートナーを選定する際に、データに基づき確信を持って意思決定を行うための指針として活用されています。本調査は、独立した分析に、運用現場の知見を有する実務者の洞察を融合させたものです。25 社以上のグローバルプロバイダーとの比較評価を経て、Hitachi Digital Services はレポートの 3 つの評価領域すべてにおいて唯一、以下の通り、それぞれ最高評価である「リーダー」の地位を獲得しました。

< ISG Provider Lens における 3 つの評価領域 >

- 「コンサルティングと変革」領域：エンジニアリングや導入を開始する前の段階において、企業がロボティクスによる変革のための戦略の具体化、計画立案を支援しているか
- 「インテグレーションとエンジニアリング」領域：産業用および商用ロボットシステムの設計、エンジニアリング、導入を行っているか
- 「マネージドサービスと「ロボティクス・アズ・ア・サービス」」領域：導入後のロボティクスシステムの運用と最適化を行い、オンデマンドまたはサブスクリプションモデルを通じてロボティクス機能をサービスとして提供する RaaS (Robotics as a Service) を提供しているか

カスタマー・ゼロのアプローチによって実証を重ね蓄積した知見に基づく提案を軸とし、ロボティクスとフィジカル AI を現実世界のミッションクリティカルな業務に根付かせることが、他社とは一線を画す Hitachi Digital Services の強力な独自性です。これにより、戦略を確実に具現化し、大規模かつ安定して機能するシステムの構築を実現します。信頼性、安全性、そして持続的なパフォーマンスが極めて重要視される分野において、鉄道やエネルギーなどの業界における深い経験に基づき、長期的に価値を創出し続けるソリューションを提供します。この実践的・実用的な手法と、強固なガバナンスとレジリエンスの追求を両立させることで、複雑な事業環境においてもお客さまが確信を持って先進的な AI を導入することを可能にします。

ISG リサーチのプリンシパルアナリストである Yash Jethani(ヤシュ・ジエタニ)氏は「Hitachi Digital Services は、日立グループ全体で取り組む Lumada のもとで、R2O2<sup>\*1</sup> と GlobalLogic のソリューションとの深い統合を通じて、エッジ・インテリジェンス(現場のインテリジェントデバイス)から、ロボティクス、そして AI による意思決定までを、安全性の高いミッションクリティカルな環境へ接続しています。NVIDIA の技術を活用した AI Factory と、責任ある AI ガバナンスを備え、同社は資産集約型産業において、現場データに基づき自己完結し循環させる自律的な運用を、スケーラブルな形で実現しています。これらの成果は、産業で培ってきた深い知見と、エンタープライズグレードのフィジカル AI のオーケストレーション力を融合させた、Hitachi Digital Services 独自の差別化によるものです」と述べています。

\*1 Hitachi Digital Services ニュースリリース：[Hitachi Digital Services、信頼性の高い AI を構築、拡張、運用するフレームワークを提供開始](#)  
(2024 年 10 月 9 日)

Hitachi Digital Services の最高技術責任者兼 AI 部門責任者である Premkumar Balasubramanian(プレムカムール・バラサブ라마ニアン)は「ロボティクスソリューションは、実証された高い信頼性と、スケーラブルな展開の実現によって真の価値をもたらします。経済や社会が日々依存する重要インフラに深く根差したソリューションプロバイダーとして、当社は高い要求が課される環境へシステムを提供してきた圧倒的な経験を有しています。日立はまずは自社において、そして次にお客さまのために、データを意思決定へと、イノベーションを現実世界での成果へと変換します。ISG からの評価は、その実績と、日立のチームが日々発揮している専門知識に対する強力な裏付けとなるものです。」と述べています。

また、Hitachi Digital Services の CEO、および GlobalLogic Inc.の社長兼 CEO である Srinivas (Srini) Shankar (スリニヴァス (スリニ)・シャンカール)は、「フィジカル AI は急速に戦略的なビジネスドライバーとなりつつあり、組織の効率性、レジリエンス、そしてオペレーショナル・インテリジェンスの向上を支援しています。その価値を実現するためには、複雑な現実世界の環境において確実に機能する AI、およびロボティクスによるソリューションを展開するための深い専門知識が求められています。こうした環境下で成功を収めるのは、イノベーションと実績ある実行力を組み合わせ、測定可能なお客さまへの成果を提供できる組織です。これは日立ならではの能力であり、Hitachi Digital Services と GlobalLogic が統合し、デジタルトランスフォーメーションのライフサイクル全体にわたってイノベーションを起こす強固で一体となった組織を確立することで、さらに強化されると考えています。」と述べています。

2026 Intelligent Robotics and Physical AI Services ISG Provider Lens レポートの URL

<https://www.hitachids.com/pdf/hitachi-digital-services-ranked-as-leader-in-the-2026-intelligent-robotics-and-physical-ai-services-isg-provider-lens/>

#### Hitachi Digital Services について

日立製作所の 100% 子会社であり、人とテクノロジーの力でミッションクリティカルな基盤を支えるグローバルシステムインテグレーターです。クラウド、データ、IoT、ERP モダナイゼーションにおいて、先進的な AI を基盤としたソリューションを提供し、企業のフィジカル・デジタルシステムの構築、統合、運用を支援します。IT と OT(制御・運用技術)の融合により、業界横断で効率性を高め、イノベーションを促進し、成長を支援します。日立グループが 110 年以上にわたり培ってきたエンジニアリング力と技術力を背景に、Hitachi Digital Services は、より安全で持続可能な未来に向けてスマートな基盤を提供します。詳しくは、<https://www.hitachids.com> をご覧ください。

#### 日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、社会インフラをデジタルで革新し続けるグローバルリーダーをめざし、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エナジー、モビリティ、コネクティブインダストリーの 4 セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、

Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客さまと社会の課題を解決します。2025 年度(2026 年 3 月期)売上収益は 10 兆 5,867 億円、2026 年 3 月末時点で連結子会社は 606 社、全世界で約 29 万人の従業員を擁しています。詳しくは、[www.hitachi.com/ja-jp/](http://www.hitachi.com/ja-jp/)をご覧ください。